

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 新型コロナウイルス関係衛生機材確保事業費(国費)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 医療機関支援係 電話番号：058-272-1111(内 2663)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,734 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	23,734	20,239	0	0	0	0	0	0	3,495
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

世界的な新型コロナウイルス感染症のまん延により、様々な医療用資材が不足する中で、新型コロナウイルス感染症対策に従事し、患者に対応する県保健所や宿泊療養施設において、これらの医療用資材の継続的な確保が必要となっている。

また医療機関用の備蓄分として調達した大量の医療用資材を保管するために、民間倉庫を使用する必要がある。

(2) 事業内容

医療用資材の調達

サージカルマスク、N95 マスク、防護服、フェイスシールド、消毒液、非滅菌手袋

医療用資材の保管

民間倉庫を借上げ、医療用資材を保管する

(3) 県負担・補助率の考え方

国 10 / 10 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金
国 1 / 2 県 1 / 2 感染症予防事業費等国庫負担金

(4) 類似事業の有無

有 国による無償配布

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	12,442	衛生機材購入費
役務費	11,292	保管料（倉庫借上げ費用）
合計	23,734	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

新型コロナウイルス感染症「非常事態」総合対策

2 まん延期に耐える医療提供体制の充実・強化（5）PPEの確保

(2) 国・他県の状況

県機関等の医療用資材は、国から配布が予定されておらず、県独自で調達する必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

県関係機関の体制維持のために行う事業であり、県主体が妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県保健所、宿泊療養施設の運営に必要な医療用資材の調達を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

今後の状況により必要数量が大きく変動するため。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 医療機関等に対し、不足する医療用資材を調達・配布した。

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 需給が逼迫する医療用資材を県が調達することで、医療機関の資材不足を緩和することができた。
 今後、個々の調達が困難な資材を引き続き調達・配布することで、県機関の体制維持に寄与するとともに、第3波以降への備えとする。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	医療用資材の流通が十分回復していない中、資材の調達を行う必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	医療用資材の積極的な調達により、令和2年度までに必要と見込まれる数量の調達が進んでいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	医療用資材の不足状況をみながら、安価なものを組み合わせながら調達を進めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 流通状況と価格の推移を注視しつつ、調達を進める。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、県の各機関における検査業務等も継続していくこととなるため、医療用資材についても引き続き調達していく必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	